

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

【課題】

- 各相談機関の業務内容を相互に十分把握できていない
- 就学前の園と小学校との連携が不十分なケースがある

【目的】

- 教育、福祉、医療、労働分野等の関係部局や関係機関が連携する仕組みの整備
- 就学前からの特別な支援を必要とする子供の相談支援体制の整備と就学後の特別支援教育の充実



成果

- 各関係部局等との情報共有を図り、相談先一覧等を作成し、保護者へ周知
- 特別支援教育指導員派遣相談による就学前から小学校入学後までの支援体制の整備
- ホームページ等を活用した情報発信によるニーズに応じた各相談の実施や特別支援教育への理解促進

【今後の取組】

- 「個別の教育支援計画」を活用した各関係機関との連携のあり方の検討

事業内容

関係部局や関係機関との連携

- ⇒年齢に応じた子育てや発達についての相談先一覧を作成し、ホームページ上に掲載
- ⇒学校向けの放課後等デイサービスの概要紹介パンフレットの作成と配付
- ⇒事業所を対象とした特別支援教育についての研修会の実施

教育委員会の特別支援教育指導員派遣相談の実施

- ⇒特別な支援を必要とする幼児の支援のあり方や小学校への引き継ぎ等の助言

就学相談や園・小中学校での実践事例の情報発信

- ⇒就学相談や就学に向けての情報をホームページ上に掲載
- ⇒児童発達支援センターでの職員や保護者向け説明会の実施
- ⇒特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する指導・支援・連携についてまとめた「まつやまサポートデータベース」を作成し、ホームページ上に掲載

まつやまサポートデータベース

| 学校別 | 番号 | 教科 | 内容・キーワード | タイトル | リンク |
|-----|---------|----|----------|--------------------|-------------------------------------|
| 保・幼 | 400-221 | 生活 | 安全 | 安全を固りながら気持ちと一緒に過ごす | リンク (PDF: 150KB) |
| 保・幼 | 401-112 | 運動 | 運動 | 運動会の流れを知らせる | リンク (PDF: 556KB) |
| 保・幼 | 402-531 | 生活 | 環境 | 幼児の動線を考えて環境づくり | リンク (PDF: 113KB) |

「まつやまサポートデータベース」は、松山市教育委員会が中心となり、教育、福祉、医療関係者が松山市の特別支援教育の推進を図るために設置している松山市特別支援教育推進協議会で提案された実践事例集です。
通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して、各教育現場で効果が認められた指導・支援・連携についてまとめたものですので、個に応じてご活用ください。

まつやまサポートデータベース

幼児の動線に沿って、スムーズに所持品の始末等が行えるよう環境を整える。
①タオル・歯ブラシとコップ入れをタオル掛けに掛ける。
②出庫ブックにシールを貼る。
③カバン・帽子をロッカーにしまう。

所持品の始末後、すぐに遊びに移行できるように、前日から着しんでいる遊びの場を用意しておく。

他児の遊びを見せることで、「やってみたい」という気持ちを起こさせ、進んで始末ができるよう促す。

支援を要してきて、手帳が分かり、所持品の始末に時間がからなくなった。
遊びに期待を持たせることで、進んで登園時の活動に取り組めるようになった。

「まつやまサポートデータベース」(松山市ホームページより)